



日本における古典的・伝統的な時空間観はいつ、どのように形成されたのであろうか？

空間認識・時間認識を形作るさまざまな要素——周囲を海に囲まれ、四季がはっきりと分かれる日本の地理的・気候的環境、中国から伝来した暦法と時刻制、あるいは政治制度、さらには仏教の影響など——を、文献史学、考古学、歴史地理学、国文学の研究者たちがそれぞれの視点から分析。

古代から中世にかけての日本の時空間観の形成・定着のプロセスを具体的かつ実証的に明らかにする。

〈内容目次〉

序 論 (吉川真司)

I 古代の時間と空間

時空間情報科学からみた日本の時空間観 (宇野隆夫)
日本古代国家形成と時空間観 (下垣仁志)
古代日本の空間意識に関する覚書 (門井直哉)
日本古代における王都の空間認識 (林部 均)
日出処・日本の元日朝賀と銅鳥幢 (西本昌弘)
古代における国郡領域編成の一考察 (今津勝紀)
日本古代のオホヤケ構造 (大津 透)
古代日本の農事慣行と地方官人 (武井紀子)

II 古代から中世へ

陰陽道の成立についての試論 (細井浩志)
亀卜の時空 (井上 亘)
親王にとっての過去・現在・未来 (畑中彩子)
『御堂関白記』古写本・寛仁元年九月三十日条と十月一日条の書写順序をめぐって (倉本一宏)
『今昔物語集』の成立と宋代 (荒木 浩)
法隆寺所蔵『五天竺図』にみる仏教的世界認識の更新 (横内裕人)
日本中世生霊試論 (徳永誓子)

III アジアという視座

『十節記』新考 (劉 曉峰)
古代東アジア世界における高句麗勢力圏 (井上直樹)
梁の武帝と転輸聖王 (河上麻由子)
中国南方の新羅人 (榎本 渉)
契丹国(遼朝)の祭祀・儀礼に関する歴史の変遷と方位観について (武田和哉)

あとがき (倉本一宏)

吉川真司・倉本一宏 [編]

日本の時空間観の形成

2017年 5月刊行

定価: 本体12,500円(税別)

▶ A5判・608頁 ISBN978-4-7842-1892-9

よしかわ・しんじ…京都大学大学院文学研究科教授。
『シリーズ日本古代史③ 飛鳥の都』(岩波新書) など
くらもと・かずひろ…国際日本文化研究センター教授
『戦争の日本古代史』(講談社) など

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版 (京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	日本の時空間観の形成 本体12,500円(税別) ISBN978-4-7842-1892-9	
お名前		tel	本書HPのQRコード
		e-mail	
ご住所	〒		
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎		

藤原道長事典

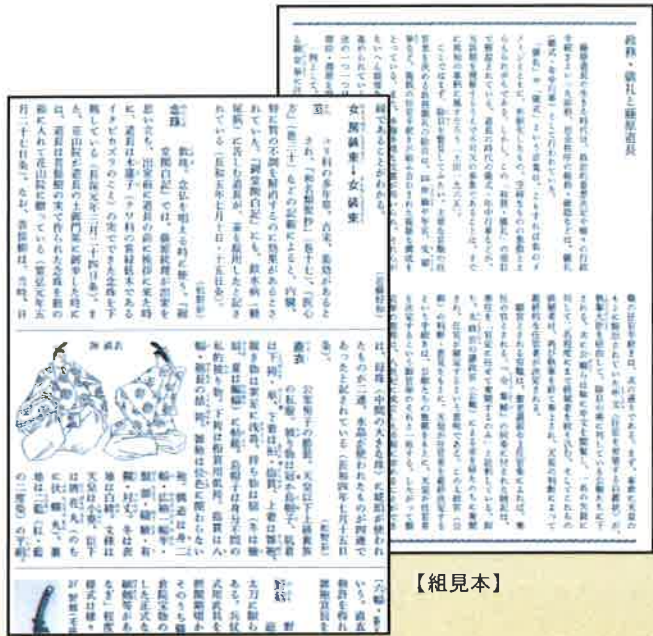
御堂関白記からみる貴族社会

大津透・池田尚隆編

藤原道長の日記『御堂関白記』に頻出の言葉を各専門分野の研究者がとりあげて解説した、読む辞典。

11の大分類に整理し、各ブロック冒頭には詳細な解説を収録。主な出所や出典、参考史料等も記載。

▶A5判・430頁／本体 6,000円(税別)
ISBN978-4-7842-1873-8



【組見本】

日記・古記録の世界

倉本一宏編

日本の日記・古記録を題材として、日本史学、日本文学など関連分野の第一線の研究者がそれぞれの視点からその本質に迫った論文集。日記とは何か、古記録とは何か、それらを記録することの意味、記主や伝承をめぐる諸問題、さらには古代・中世における使われ方など、単に日記・古記録を利用するだけにとどまらない意欲作35論考。

▶A5判・792頁／本体 12,500円(税別) ISBN978-4-7842-1794-6

平安王朝の葬送 死・入棺・埋骨

臈谷寿著

日本古代摂関・院政期の天皇(桓武~安徳天皇)と貴族の葬送儀礼における具体相をさぐり、その相違点を考察する。平安王朝の死、入棺、葬送、埋骨の様相を通覧することから、皇権の在り方を考える。平安朝史研究にながくたずさわり、精通した著者によるこころみの一書。

▶A5判・304頁／本体 3,700円(税別) ISBN978-4-7842-1832-5

怨霊・怪異・伊勢神宮

山田雄司著

古代・中世社会で大きな意味をもち、社会の底流で歴史を動かしてきた怨霊・怪異。早良親王・菅原道真・崇徳院などの怨霊や、様々に記録・伝承される怪異など、その諸相を歴史的に跡づける。さらには親鸞や伊勢神宮といった、神と仏をめぐる領域をも射程に入れて集大成する。

▶A5判・448頁／本体 7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1747-2

神楽と祭文の中世 変容する信仰のかたち

斎藤英喜・井上隆弘編

「民俗芸能」と呼ばれ、古代以来伝わるものとされる「神楽」。それらの深層を探ると、そこには混沌とした「中世」の信仰のかたちが現れる。中世の信仰と思想を伝える「祭文」を中心に、中世神楽および関連する陰陽道・密教・アジアの巫俗の世界を読み解く意欲作。

▶A5判・390頁／本体 8,000円(税別) ISBN978-4-7842-1871-4

世界遺産と天皇陵古墳を問う

今尾文昭・高木博志編

世界文化遺産登録に向けた動きのなかで浮かびあがる天皇陵をめぐる諸問題——考古学の成果との齟齬、天皇陵指定の経緯、陵墓公開運動、社会への広がり(ウェブ・教科書・報道)などを多角的に取りあげ、これからの天皇陵のあり方を考える。

▶A5判・304頁／本体 2,300円(税別) ISBN978-4-7842-1872-1

栄花物語・大鏡の研究

山中裕著

従来『栄花物語』はとくに国文学の分野でとりあげられ、歴史学の方面からの研究は少ない状態である。本書は『栄花物語』に内包される歴史書としての特徴を考究し、かつ『大鏡』の歴史的意義についても論究。従来からの歴史物語という分野に収まりきれない可能性を提示する。

▶A5判・404頁／本体 7,200円(税別) ISBN978-4-7842-1640-6

平安陰陽道史研究

山下克明著

陰陽道の日本的特質とは何か?その成立・展開期である平安時代を中心に、仏教・神祇信仰と並ぶ宗教としての陰陽道のあり方、陰陽師たちの天文観測技術や呪術・祭祀など活動の実態とその浸透、彼らの信仰などをさまざまな角度から明らかにする。

▶A5判・460頁／本体 8,500円(税別) ISBN978-4-7842-1780-9

変容する聖地 伊勢

ジョン・ブリン編

伊勢神宮は古代から変わることなく受け継がれてきた聖地というイメージで語られるが、移りかわる時代のなかで大きく変貌を遂げてきた。本書は国内外の一流の研究者による古代から近・現代にわたる論考16編を収め、伊勢神宮の変容の歴史をひもとく。

▶A5判・340頁／本体 2,800円(税別) ISBN978-4-7842-1836-3

平安期の願文と仏教的世界観

工藤美和子著

【オンデマンド版】

願文自体が何を語ろうとしているのか分析することで、天皇から中下級貴族・女性・僧侶にいたる人々の仏教理解や具体的信仰のあり方、所属する社会集団内部でのそれぞれの構成員が果たした公共的な役割、寺院や僧侶と世俗社会との関わり方、具体的な宗教的実践のあり方を明らかにする。(初版2008年)

▶A5判・368頁／本体 7,400円(税別) ISBN978-4-7842-7014-9

東アジアの交流と地域諸相

藤井一編

経済・文化・学術・観光の視点から北東アジアの「交流の多様性」を明かし、「アジア地域交流学」の構築を目指す金沢星稜大学ORCプロジェクト。2005年に敦煌研究院の2氏を迎えて開かれた「アジア文化交流と世界遺産を語る」フォーラムの成果。

▶B5判・170頁／本体 3,200円(税別) ISBN4-7842-1306-6

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。